年間授業計画　様式例

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　国語　科目 言語文化

教　科：国語　　科　目：言語文化　　単位数：3　単位

対象学年組：第　１ 学年　１ 組～　８ 組

教科担当者：（１組：飯室）　（２組：佐々木）　（３組：石黒）　（４組：飯室）　（５組：石黒）　（６組：石黒）
（７組：佐々木）　（８組：飯室）

使用教科書：（ 高等学校　言語文化　（第一学習社）　）

教科　国語　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】　社会で生きるために、また人生の豊かさを実感しながら生きるために必要な、国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　言語文化　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言語文化に対する理解を深める。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとするとともに、読書に親しむ姿勢を涵養する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 古文入門「古文の学習」「児のそら寝」「絵仏師良秀」 【知識及び技能】 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとする。	・指導事項 ・古典の世界に親しむために、また古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現・語彙などについて理解を深める。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとするとともに、意欲的に文法事項を修得する。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「必携　古典文法」 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・古語辞典の引き方に慣れ、主として活用について、文語のきまりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知っている。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み、叙述に基づいて人物造形のおもしろさを捉えようとしている。	○	○	○	12
	B「漢文入門」「訓読に親しむ」 【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を積極的に活用し、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「漢文必携五訂版」 ・一人１台端末の活用　等		○		【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知っている。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ知識を積極的に活用し、学習課題に取り組む。	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
	C「歌物語」「伊勢物語」 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しみ、読解するために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・古典の世界に親しみ、読解するために必要な文語のきまりや古典特有の表現・語彙などについて理解を深める。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉える。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「必携　古典文法」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 古典の世界に親しみ、読解するために必要な文語のきまりや古典特有の表現・語彙などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組んでいる。	○	○	○	14
	D「故事成語」 【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとする。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「漢文必携五訂版」 ・一人１台端末の活用　等		○	○	【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知っている。 ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組んでいる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
2学期	E「土佐日記」 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しみ、読解するために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記の設定を踏まえたうえでの話の展開や登場人物の心情の読み取り方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・古典の世界に親しみ、読解するために必要な文語のきまりや古典特有の表現・語彙などについて理解を深める。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・日記文学の構成・特徴などを粘り強く把握させ、学習課題に沿って説明する。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「必携　古典文法」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・平安時代の代表的な作品である日記文学について、文化的背景等を含めて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日記文学の初期の作品を読み、作品の設定や提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組んでいる。	○	○	○	10
	F「史伝」「十八史略」 【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 ・故事成語の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた人物の考え方や人物像を読み取る。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・積極的に史伝を読み、藺相如の考え方や人物像を説明しようとする。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「漢文必携五訂版」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得している。 ・故事成語の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた人物の考え方や人物像を読み取っている。 ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	G随筆（二）「徒然草」 【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について、文語のきまりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中世の思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・古典の世界に親しみ、読解するために必要な文語のきまりや古典特有の表現・語彙などについて理解を深める。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・随筆の内容・構成などを粘り強く把握させ、学習課題に沿って説明する。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「必携　古典文法」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解している。 ・主として敬語について、文語のきまりを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・中世の思索的な随筆を読んで、作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解いている。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組んでいる。	○	○	○	14
	H「桃花源記」 【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の背景となる当時の人々の考えや生活等を知るとともに、桃花源に至る描写を整理し、桃源郷の在り方を読み取る。 ・老荘思想を背景とした散文作品であることを踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組む。	・指導事項 ・日本の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・老荘思想を踏まえて、桃源郷に関する考え方を理解し、説明しようとする。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」「漢文必携五訂版」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・漢文を訓読するための基礎知識を習得している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の背景となる当時の人々の考えや生活等を知るとともに、桃花源に至る描写を整理し、桃源郷のの在り方を読み取っている。 ・老荘思想を背景とした散文作品であることを踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 本文の内容を進んで捉え、学習課題に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3学期	I平家物語 【知識及び技能】 ・本文中に登場する、日本の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりする。	・指導事項 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、歴史的な文体の変化について理解する。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・本文中に登場する、日本の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・合戦を主題とした文学作品を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	14
	J唐詩の世界 【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解する。 ・日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明する。	・指導事項 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・教材 「高等学校　言語文化」「新訂版　最新国語便覧」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・表現の技法とその効果について理解している。 ・日本の言語文化の特質や日本の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く漢詩を読み比べ、よまれた情景や心情を説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
										合計 105